


OSCE無事終了!

8月7～24日に客観的臨床技能試験（OSCE）を実施し、新人64名が終了しました。新人の皆さんからは「緊張した」「焦った」との声も聞かれましたが、自主練習の効果もあり、落ち着いて対応できていたように感じます。特に、声かけの丁寧さが印象的で、評価も高得点だったことは嬉しい結果でした。また、事前に安楽なケア方法について同期で試行錯誤し、工夫して実践してくれた新人さん達もいました。技術ができるだけでなく、そういった姿勢を今後も大事にしていって欲しいと思います。



～患者役を通して新人さん達から学んだこと～

by教育担当

- ①一動作ずつ声をかけてもらえるとやっぱり安心
改めて「自分が何をされるのか」「NSが何をしようとしているのか」がわからないと不安になると感じました。
皆さん、丁寧に声かけしてくれてありがとう！
- ②車椅子に深く腰掛ける介助をされる時、腹部を圧迫されるとキツイ
そんな中、ある新人さんがとっても上手に介助してくれたのです。方法を検証してみた所、いくつかのポイントを発見しました。
 - 部分に力を入れると腹部を圧迫してしまうため、
 - ①ボディメカニクスを効果的に使えるよう、腰を落とし足幅を広げる、
 - ②NSの脇をグッとしめ  部分(側胸部)を上腕でしっかり支える、
 - ③NSの体重移動により全身の力を使って後ろに引くことがコツのようです。
 感じ方には個人差もあると思いますが、ぜひ試してみてください。



酸素ポンベの点検(酸素の流出、残量など)を忘れる新人さんが多かったのが気になりました。普段バルブが空けばなしのことが多いのかもしれませんが、皆さんの部署はどうですか？

お知らせ 看護過程サポートが始まりました！



昨年も実施しました看護過程サポートを今年も実施します。60分じっくり時間をかけて関わることにより、新人が自身の傾向を見つめ直す機会にもなると思います。ぜひご活用ください。



ICU増床工事に伴い、機器センターに引っ越しました。

<終わりに>

この度、新人さん達の頑張りを多くの先輩方に知って頂きたいと思い、このようなお便りを発行することとなりました。定期的な発行と内容の充実を目指して頑張ります。

看護部教育担当 内線：3607 PHS：8455